

【事業実績】

上野池之端地域から推進する文化資源活用発信事業を、横山大観記念館が中核館となり台東区教育委員会や地域の町会や美術館、企業等と共働して実施した。

(1) 連携ワークショップの開催

①「大観の色富士を描く」 顔料を使った日本画指導



12月6日：応募28名/当選25名

参加者の声「普段なにげなく見ていた日本画がこんなに大変なものだと初めてしりました。」「やっぱり自分で実際に書いてみないとわからないことがたくさんあるんだなと実感しました。」「貴重な体験をさせていただきました。」「限られた時間の中でまったく初めての日本画が少し知れた気がします。」「見るだけでなく実際に材料にふれて良い画材でわかりやすい説明がとても楽しかったです。」

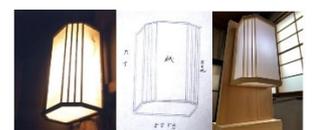
②「大観の富士を私の色で描く」 水彩絵の具による彩色指導



11月19日：応募39名/当選25名

参加者の声「とても楽しくできました。家でもいろいろな色の工夫と、教えていただいたばかりとたらし込みの技法をもう一度やってみたいです。」「本当に楽しくて出来上がったフレームが嬉しいです。ありがとうございます。」「コロナ感染状況の中、開催が心配でしたが実施できてよかったです。ありがとうございます。」「絵を習ったことがないので楽しかった。色のグラデーション、混ぜて色を重ね合わせるのがとても難しかった。」「講師の皆様の話印刷の折の色の出し方はとても面白く、ご苦労の程もわかります。よい一日でした。」

③「大観の灯りを作ろう」 大観設計の灯り製作



大観邸の即斗灯 大観デザイン図 ワークショップ完成作品

2月27日：応募46名/当選25名

参加者の声「モノを作ることの難しさを痛感できた半日でした。改めて職人さんの技術に感心です。」「ありがとうございます。今度、横山大観の作品を観にいきます。」「想像以上に楽しいイベントでした。又画家にとって照明やアトリエ(建築)の重要性を学べるとも良い機会ですね。今後も開催して頂きたいです。」「いつか足を運びたいと思いつつまだ行ったことのない横山大観さんのイベントだったので参加しました。難しかったですが、とても楽しかったです。ありがとうございます。」

ワークショップアンケート結果 全3回合計



★全てのワークショップで普通・良くなかったという評価がゼロであった。

★ワークショップの開催で近隣に立ち寄る方が8割を超えていた。

(2) 館内案内の多言語化

案内リーフレットや館内の展示品の解説文を多言語で作成した。

① 多言語案内リーフレットの作成



② 多言語作品案内等の作成



(3) デジタル・アーカイブ



ポジフィルムで撮影された大観作品画像の劣化が進んでいる約5000点のポジから400点を選んでデジタル化し、ワークショップやリーフレット作成に活用した。

(4) 地域共働事業検討会議

博物館マネジメント、文化財修復保存の専門家、経済コンサルタントらによる委員会を設置し、アウトリーチや地域への経済効果などを専門家によって検討する会議を実施した。